

# 見つめ直したブランドの価値観の 視覚化に取り組んだ、新しい QB HOUSEのVIと店舗デザイン。

“LESS IS MORE” 余計や無駄を省き、ほんとうに必要なクオリティだけに集中すれば、人も暮らしも豊かになるという価値観。この価値観が作り出す「省力・省手間・省時間」のチカラで、もっと豊かで快適なより良い社会の発展に寄与していくこと。

2020年、私たちQB GROUPはこのブランドの存在意義を胸に、新しい時代に向かっての一步を踏み出します。その一步目として取り組んだことが、VIと店舗デザインの刷新です。2018年からブランディングの推進と強化を図るプロジェクトの中で行なってきた調査やワークショップを経て、改めて見つめ直したブランドの価値観をもとに、そのQB HOUSEらしさを視覚化したブランドカラー、ブランドロゴ、業態サイン、ブランドカラーとブランドロゴを組み合わせたシンボルサインなどのVIのリニューアルに加え、店舗デザインの刷新を行いました。



ブランドカラーの刷新では、これまで日本、シンガポール、香港、台湾、NYで使用していたブランドカラーである5つの青色をもとに、見つめ直したQB HOUSEのブランドパーソナリティに沿って5つの青色の再定義を行い、ブランドのプライマリーカラーに設定しました。そして、それら5つの青色を統合して生まれたグラデーションカラーをQB HOUSEを象徴するブランドカラーとして採用しました。この採用については、従来のトラディショナルメディアだけでなく、デジタルメディアで個性が表現できるグラフィックであることも考慮しました。



また、店舗の看板となるシンボルサインには、ブランドカラーが映える、5つのプライマリーカラーの中で最も深い青色をベースに、刷新したブランドロゴを組み合わせた新しいサインを掲げていきます。そして、私たちQB HOUSEがヘアカットサービスのスペシャリストであること示す業態サインでは、これまで使用していた「ヘアカット専門店という業態表記」と「ハサミとクシのアイコン」で構成されたデザインを見つめ直しました。海外拠点でも使用できるグラフィックを前提にデザインするため、改めて業態表記は英文を採用しています。また、ヘアカットに使用する道具ではなく、私たちQB HOUSEは、それを扱うスタイリスト（人）が中心にあるブランドなので、ハサミとクシのアイコンに加えて「スタイリスト（人）の手」が印象に残るグラフィックを採用しました。



# 自分たちらしさを大切にした、 ミニマルな店舗デザイン。

装飾的な趣向を凝らすのではなく、ヘアカットサービスを受けるお客さまと、それを提供するスタイリストたちにとって、余計や無駄につながる要素を出来るだけ省くミニマルデザインの考え方に沿ってリニューアルを行いました。

店舗ファサードでは、店舗のガラス面に貼っていたポスターや案内表示などの情報を、デジタルサイネージでひとまとめに表示するなど、これまでのファサードの問題点となっていた目のやり場と情報量の多さを省き、ファサードに「余白」をつくりだすことで、スタイリストの様子と店内の様子が美しく見える、お客さまに安心さを伝えるデザインにリニューアルしました。

また、店内空間では、無駄のない動線設計であるが故に生じてしまう緊張感や、立地の良し悪しで生じてしまう閉塞感といったお客さまの不安を除くために、ヘアカットサービスを受ける行為と待つ行為に相応しい、照明の効果や床材の貼り分けを行うことで、区分けのしっかりした空間づくりに見直すなど、お客さまとスタイリストが豊かで快適につながる空間の「居心地」をつくりだすことを目指しました。そして、店舗ファサードおよび店内空間で使用する様々な素材についても、ヘアカットに特化した専門店らしい佇まいと、ヘアカットサービスのスペシャリストであることを感じさせるクオリティの「質感」の良さを持った素材選びを行いました。



アフターコロナ、ポストコロナと呼ばれる次の新しい時代に向かって、いまコロナ渦という時間を共に過ごしている私たちは、“日常生活をもっと快適に過ごしたい”という想いを抱いています。ますます高まる「豊かで快適な日常生活」への欲求と、「自分らしく時間を使うこと」への共感に応えるべく、私たちQB GROUPは、余計なものを捨てる、減らす、省くことで見えてくる、本当に大切なことのクオリティだけに集中し、誰もが平等に与えられている1日1440分という「時間の価値」を高めることができるという信念のもと、一人ひとりが身近な社会に目を向けて、“人”のためにできる「きれいごと」を全力で取り組み、豊かで快適な持続可能なより良い日常生活に貢献していきます。



**本件についてのお問い合わせ先**

QBネットホールディングス株式会社 | 総務人事部（宮城）

Mail : [media@qbnet.jp](mailto:media@qbnet.jp) Tel : 080-7756-5640